

# 文献リストをサクッと作成 ~RefWorks を使うには~

## 【ユーザ登録・学内/学外アクセス方法】

### RefWorks



#### ■ユーザ登録

- ① RefWorks にアクセス。
- ② 「新規アカウントを申し込む」をクリック。

#### ■学外からの利用の流れ:

- ① SSL-VPN Gateway サービス (GACoS) ⇒ SSL-VPN Gateway サービスに ECCS アカウント等でサインイン (使う機能によりグループコードを求められます。) その他のサービス ⇒ RefWorks ログイン ⇒ 利用 ⇒ ログアウト ⇒ サインアウト
- ② グループコードで利用 (GACoS) ⇒ リモートアクセスにグループコードでログイン ⇒ RefWorks ログイン ⇒ 利用 ⇒ ログアウト  
※推奨、ただし不定期に変更されます。

■使い方で困ったら: FAQ 「RefWorks を使うには？」を参照 (RefWorks ログイン画面にリンクあり)  
⇒ <http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/refw.html>  
ユーザ登録、学内・外からの利用方法、マニュアル等、必要な情報を掲載

■問い合わせ: 東京大学附属図書館 ASK サービス <https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/ask/>

## 【フォルダを作る】

★作成したフォルダは、タブを「フォルダの整理および共有」に切り替えると一覧できる。

この資料に関するお問合せ: 東京大学 本部情報基盤課 [学術情報リテラシー担当]  
TEL: 03-5841-2649 (内線:22649) E-mail: [literacy@lib.u-tokyo.ac.jp](mailto:literacy@lib.u-tokyo.ac.jp)

## 【データベース検索結果をダイレクトにインポート】 —①Web of Science の場合

- ① Web of Science 検索結果画面で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
- ② 「RefWorks」をクリック。
- ③ 完了のメッセージが表示される。(Web of Science 利用後は右上の「ログアウト」をクリック)

④ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。

以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

### 【Web of Science 画面】

②

+
✓
(0)

保存先:
EndNote® Web
EndNote®

結果の分析  
引用レポートの作成

①

↓
RefWorks
ResearcherID
その他のオプション

1. タイトル: **NONPOLAR MUTAGENESIS OF THE IPA GENES DEFINES IPAB, IPAC, AND IPAD AS EFFECTORS OF SHIGELLA-FLEXNERI ENTRY INTO EPITHELIAL-CELLS**  
 著者名: MENARD R; SANSONETTI PJ; PARROT C  
 ジャーナル名: JOURNAL OF BACTERIOLOGY 巻: 175 号: 18 ページ: 5899-5906 発行: SEP 1993  
 被引用数: 489 (Web of Science から)  
[Article Link](#) 抄録を表示

2. タイトル: **THE SECRETION OF THE SHIGELLA-FLEXNERI IPA INVASINS IS ACTIVATED BY EPITHELIAL-CELLS AND CONTROLLED BY IPAB AND IPAD**  
 著者名: MENARD R; SANSONETTI P; PARROT C  
 ジャーナル名: EMBO JOURNAL 巻: 13 号: 22 ページ: 5293-5302 発行: NOV 15 1994  
 被引用数: 216 (Web of Science から)

③

レコードを処理中

要求を処理する間しばらくお待ちください。  
(注意:レコード件数に応じて処理に必要な時間は異なります。)

製品: Web of Science  
 選択したアクション: RefWorksに保存

レコードを処理中 ...完了

-レコードをRefWorksに送信しています。これらのレコードを取得するのにはしばらくかかります。  
 -レコードを受け取るとRefWorksウィンドウに自動的に表示されます。

戻る

(レコードをRefWorksで受け取る前にブラウザの [戻る] ボタンをクリックしたりブラウザを閉じないでください。送信プロセスがキャンセルされます。)

レコードのインポートができない場合は、ポップアップブロックされていることが多い。ポップアップブロックを解除すること。

### ④ 【RefWorks 画面】

RefWorks

東京大学 Univ

レコードをインポートする

✕
インポートが完了しました - 3 件のレコードが取り込まれました。

インポートログ ▼

インポートしたレコードを編集する ▼

レコードID 2

著者 表題

ソース フォルダ

レコードID 1

著者 表題

ソース フォルダ

レコードID 3

著者

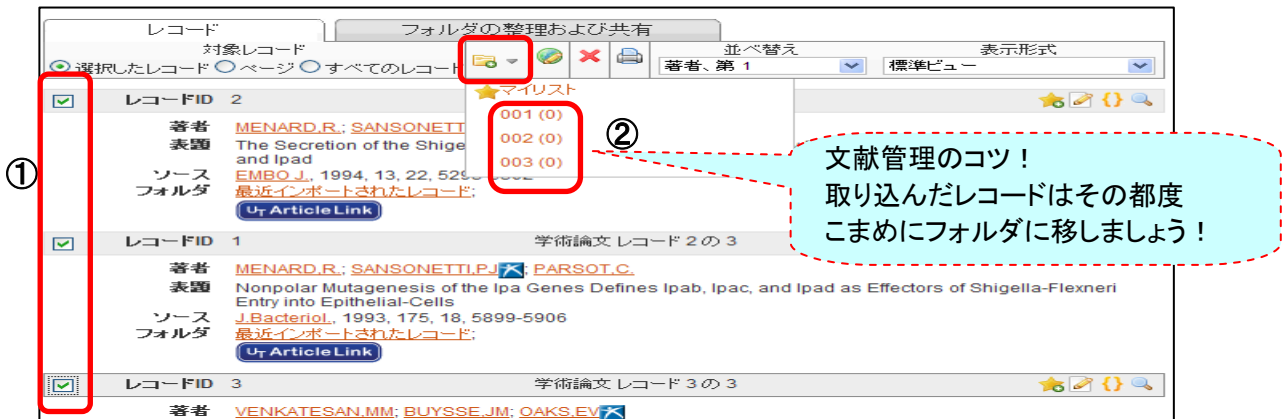
🔍
最後にインポートしたレコードを見る

取り込んだレコードは「最後にインポートしたレコード」(フォルダ名:最近インポートされたレコード)に蓄積される。

2

## 【レコードをフォルダに移す】

- ① レコードの左端にチェックを付ける。
- ② 「追加先」のアイコンをクリックして、どのフォルダに移すかを選択し、クリック。



- ★複数のフォルダに入れた場合、1つのフォルダで削除すると、すべてのフォルダから削除される。  
⇒「削除」アイコンではなく、「フォルダから除去する」アイコンをクリックすれば OK。



- ★フォルダに入れたレコードを見るには、画面右の「フォルダ」一覧⇒見たいフォルダ名をクリック。




### 【補 足】■各データベースからのインポート方法を知りたい

- ⇒「RefWorks を使うには？」のページ参照 (RefWorks ログイン画面にリンクあり)
- ⇒[http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/cat38/refworks\\_2/](http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/cat38/refworks_2/)



#### ■取り込んだレコードのバックアップをとる

- ⇒メニューバー「レコード」→「エクスポート」をクリック
- ⇒エクスポート画面で対象とフォーマットを選択し、「エクスポート」ボタンをクリック

#### ■RefWorks から電子ジャーナルの論文本文を見るには

- ⇒取り込んだレコードの「ビュー」 で詳細画面を開き、URL をクリック  
(または、UT Article Link ボタンをクリック)

#### ■取り込んだレコードを編集したい

- ⇒レコードの「編集する」 をクリック (複数レコードの一括編集は「グローバル編集」 クリック)
- ⇒レコードの編集画面で適宜修正・追記等を行い、「保存する」をクリック

#### ■手入力で新規レコードを追加したい

- ⇒メニューバー下の「レコードの作成」ボタンをクリック
- ⇒新規作成画面で「出力フォーマット」、「Reference Type(資料タイプ)」（学術論文、新聞記事、書籍等）から適切なものを選択すると、その資料タイプに沿った項目となるので、必要な項目を入力して「保存する」をクリック

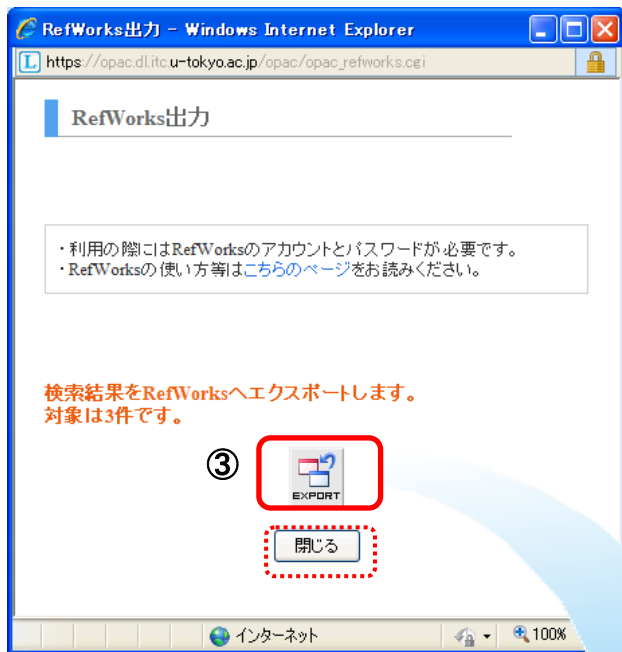
## 【データベース検索結果をダイレクトにインポート】—②東京大学 OPAC の場合

- ① OPAC の検索結果で RefWorks に取り込みたいレコードの左端にチェックを付ける。
- ② 「RefWorks 出力」をクリック。
- ③ 別ウインドウ「RefWorks 出力」画面で  [Export] のアイコンをクリックしてから閉じる。

④ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。

以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

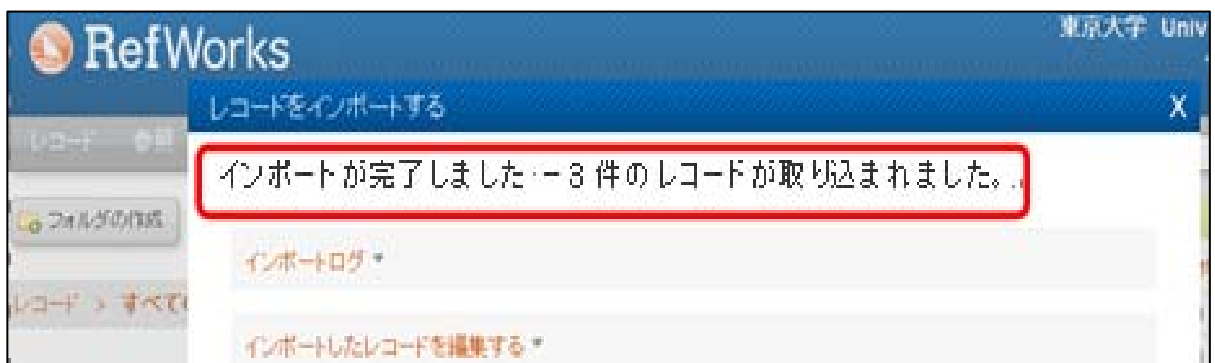
### 【東京大学 OPAC 画面】



#### 【補 足】

- ③で [Export]アイコンを押しても無反応の場合  
⇒すでに開いている RefWorks の画面があれば、  
全て閉じる。(このとき RefWorks のログアウト不要。)  
⇒再度、③の [Export]アイコンをクリックすると、  
④の RefWorks 画面が開く。

### ④ 【RefWorks 画面】



## 【データベース検索結果をダイレクトにインポート】 —③CiNii の場合

- ① CiNii 検索結果画面で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
- ② 左上のプルダウンメニュー「新しいウィンドウで開く」⇒「RefWorks に書き出し」を選択。
- ③ 実行ボタンをクリック。

- ④ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。

以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

### 【CiNii 画面】

② RefWorksに書き出し

③ 実行

①

インパクトファクターによる学術雑誌の評価  
Cinii 山口 幸生  
福岡大学スポーツ科学研究 42(1), 27-28, 2011-11  
Cinii Link1 医中誌 UT Article Link 東京大学OPAC

科学論文とは：若き研究者のための論文迅速評価法  
Cinii BRUNETTE Donald M., 八重垣 健  
論文を読むあるいは作成するための、論文の価値判断の指針を解説した。論文の構成要素(こま)まず「読者(あなた)」が最上位にあり、そしてタイトル・著者・掲載雑誌の位置づけ、要旨(抄録)ははじめに、研究方法と材料、結果、考察、結論などの因子がある。そのうえで、読者側からは「読者の印象に残る重要な情報」、そして「読者が個人的に学んだ明確で重要な情報」などの因子がある。読者は、その論文に、どの程度興味を持つこ ...  
口腔衛生学会雑誌 61(5), 536-543, 2011-10-30  
Cinii PDF - 未公開 医中誌 UT Article Link 東京大学OPAC

ジャーナルインパクトファクターを想う  
山岸 正和  
金沢大学十全医学会雑誌 120(3), 93, 2011-09  
機関リポジトリ UT Article Link 東京大学OPAC

### ④ 【RefWorks 画面】

レコードをインポートする

インポートが完了しました。3 件のレコードが取り込まれました。

インポートログ

インポートしたレコードを編集する

## 【データベース検索結果をダイレクトにインポート】—④医中誌 Web の場合

- ① 医中誌 Web 検索結果で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
- ② 「RefWorks」のアイコンをクリック。  
(医中誌 Web 利用後は右上の「終了」をクリック)

③ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。

以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

### 【医中誌 Web 画面】

②

①

すべてチェック 印刷 ダウンロード メール クリップボード RefWorks EndNote EndNote<sup>Web</sup>

表示内容の変更 タイトル表示 30件 収録誌発行順

1 2012352786  
センダイウイルスベクターと再生医療(解説)  
Author: 佐伯 昇一(ディナベック), 長谷川 護  
Source: Medical Science Digest(1347-4340)38巻11号 Page504-507(2012.10)  
抄録を見る  
所蔵確認 Article Link Webcat Plus

2 2012352782  
【幹細胞の臨床応用】 再生医療の臨床応用にむけた非臨床試験(解説/特集)  
Author: 大倉 華雪(先端医療振興財団 再生医療研究開発部門), 松山 晃文  
Source: Medical Science Digest(1347-4340)38巻11号 Page486-489(2012.10)  
抄録を見る  
所蔵確認 Article Link Webcat Plus

3 2012352780  
【幹細胞の臨床応用】 ヒトiPS細胞の臨床応用(解説/特集)  
Author: 杉山 逸未(京都大学iPS細胞研究所), 沖田 圭介  
Source: Medical Science Digest(1347-4340)38巻11号 Page479-482(2012.10)

### ③ 【RefWorks 画面】

RefWorks 東京大学 Univ

レコードをインポートする

インポートが完了しました。 - 3 件のレコードが取り込まれました。

インポートログ \*

インポートしたレコードを編集する \*

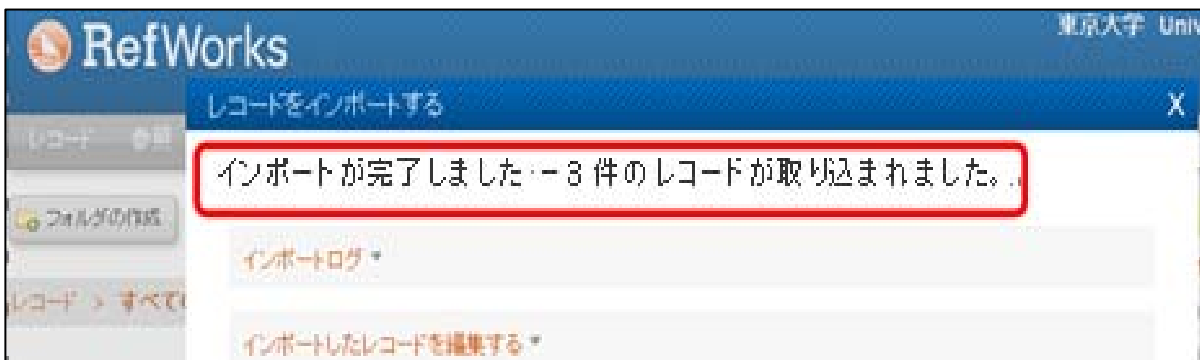
**【データベース検索結果をダイレクトにインポート】—⑤ScienceDirect の場合**

- ① ScienceDirect の画面で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
  - ② Export citations のアイコンをクリック。
  - ③ 「RefWorks Direct Export」を選択し、Export ボタンをクリック。
- .....
- ④ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。
- 以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

**【ScienceDirect 画面】 ②**

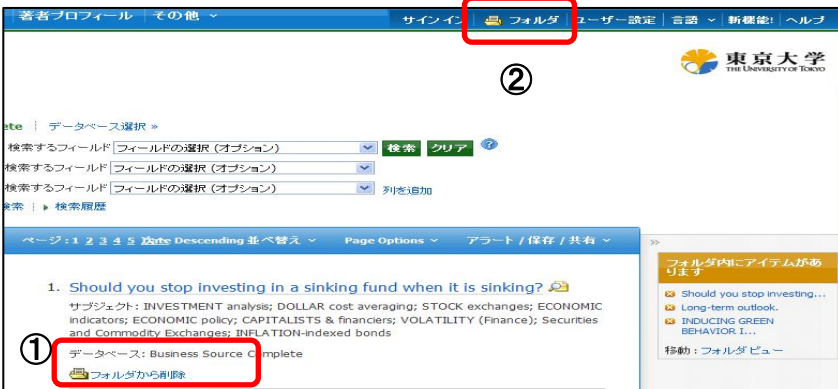


**④ 【RefWorks 画面】**

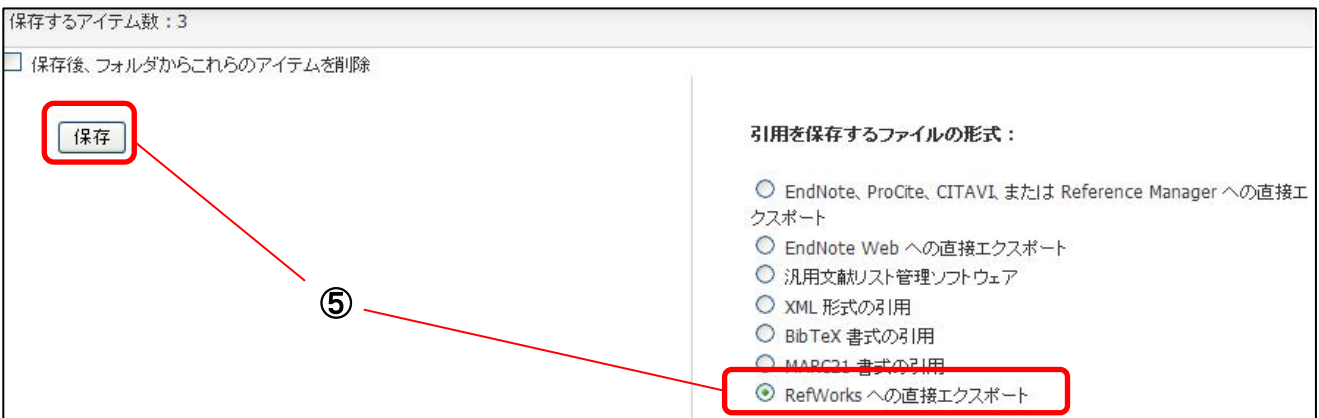


**【データベース検索結果をダイレクトにインポート】 —⑥EBSCOhost の場合**

- ① EBSCOhost 検索結果で、RefWorks に取り込みたいデータについて、それぞれの「フォルダに追加」をクリック。（これで EBSCOhost 内のフォルダにデータが入る。）
  - ② 画面右上の「フォルダ」をクリック。
  - ③ 「すべて選択」をクリック、または取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
  - ④ エクスポートのアイコンをクリック。
  - ⑤ 「RefWorks への直接エクスポート」を選択し、保存ボタンをクリック。
- .....
- ⑥ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照



**【EBSCOhost 画面】**



**⑥ 【RefWorks 画面】**

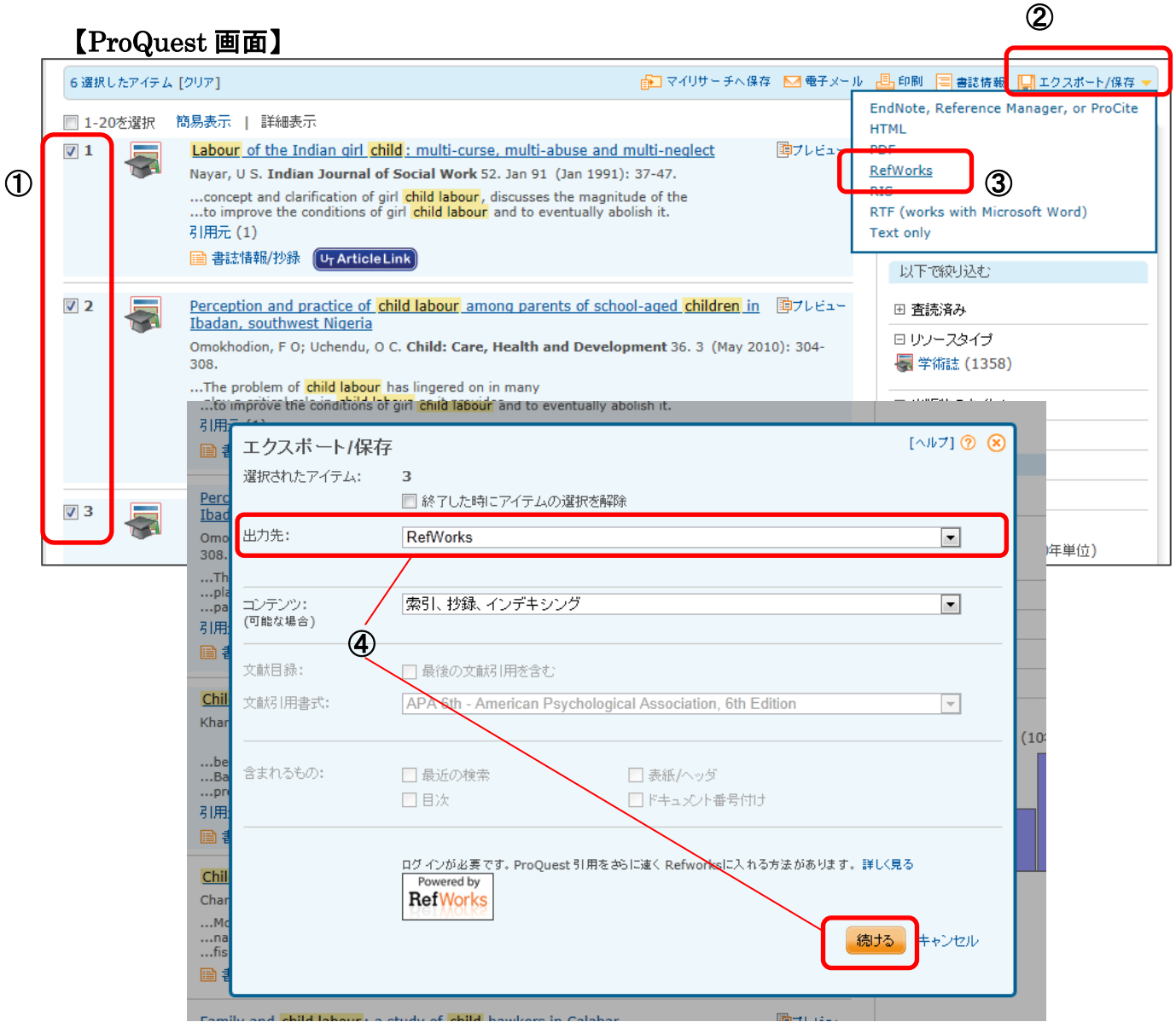




**【データベース検索結果をダイレクトにインポート】 —⑦ProQuest の場合**

- ① ProQuest 検索結果で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
  - ② エクスポート/保存 のアイコンをクリック。
  - ③ RefWorks をクリック。
  - ④ エクスポート画面で出力先が「RefWorks」になっているのを確認し、「続ける」ボタンをクリック。  
(ProQuest 利用後は画面右上の「終了」をクリックしてセッションを終了する)
- 
- ⑤ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。  
以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

**【ProQuest 画面】**



レコードのインポートができない場合は、ポップアップブロック  
されていることが多い。ポップアップブロックを解除すること。

**⑤ 【RefWorks 画面】**



**【データベース検索結果をダイレクトにインポート】—⑧Engineering Village の場合**

- ① Engineering Village の画面で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
  - ② Download ボタンをクリック。
  - ③ 「RefWorks direct import」を選択し、Download ボタンをクリック。  
(Engineering Village 利用後は右上の「End Session」をクリック)
- 
- ④ RefWorks 画面で、「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。  
以降の操作は p.3「レコードをフォルダに移す」を参照

**【Engineering Village 画面】**

The screenshot shows the Engineering Village search results page. On the left, there are filters for Database (Compendex, Inspec), Author, and Author affiliation. The main area displays search results with checkboxes in the left margin. A red box labeled '1' highlights these checkboxes. A 'Download' button is highlighted with a red box labeled '2'. An inset dialog box titled 'Download Records' is shown, containing a 'Record output' dropdown menu set to 'Citation'. Below the dropdown are radio buttons for 'RIS, EndNote, ProCite, Reference Manager', 'BibTex format', 'RefWorks direct import' (selected), and 'Plain text format (ASCII)'. A 'Download' button is at the bottom of the dialog, highlighted with a red box labeled '3'. A note in the dialog states: 'NOTE: Your selected records (to a maximum of 500) will be kept until your session ends. However, to delete them after this task: Return to the Search results page and click Delete Selected Records, or Go to the Selected records page and click Remove All, or Click the End session link at the top of the page.'

**④ 【RefWorks 画面】**

The screenshot shows the RefWorks interface with a blue header bar. A message box is displayed in the center, containing the text: 'インポートが完了しました - 3 件のレコードが取り込まれました。' (Import completed - 3 records imported). The message box has a red border. Below the message, there are options for 'インポートログ' (Import log) and 'インポートしたレコードを編集する' (Edit imported records).

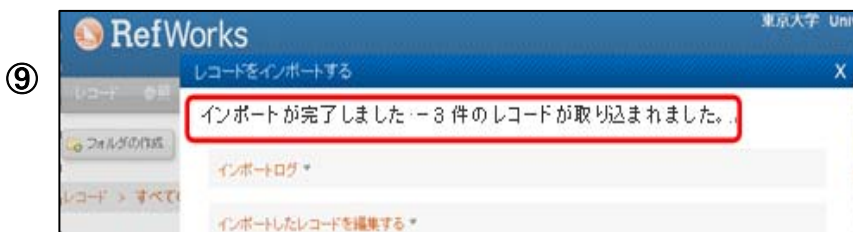
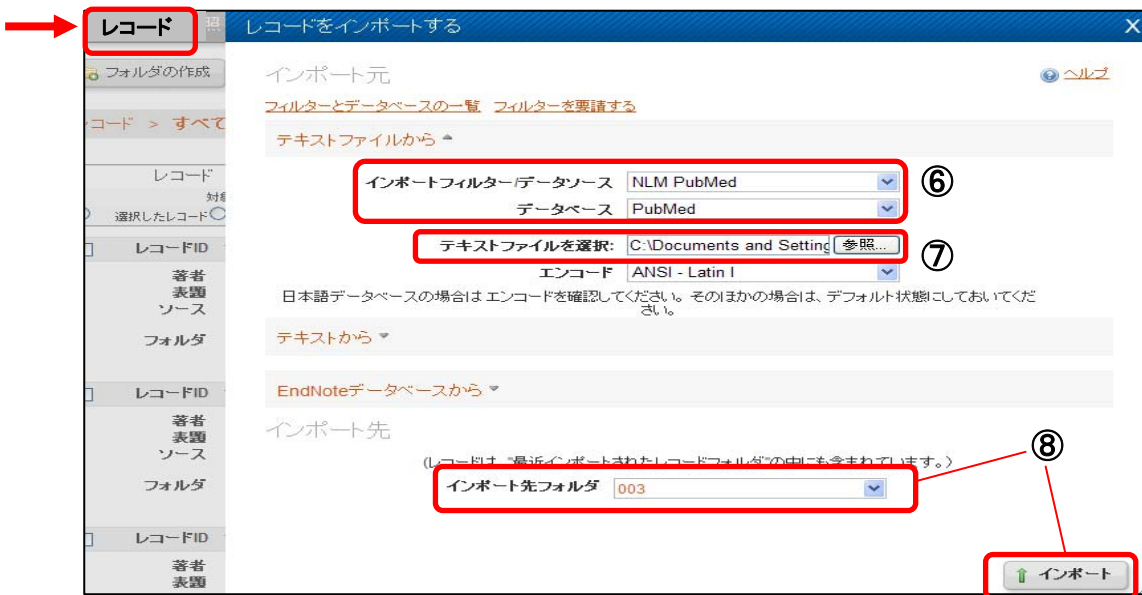
## 【データベース検索結果をテキストファイルからインポート】—PubMed の場合

- ① PubMed 検索結果画面で、RefWorks に取り込みたいデータの左端にチェックをつける。
  - ② 「Send to」のプルダウンメニューで「Citation manager」を選択。
  - ③ 「Create File」ボタンをクリック。
  - ④ 「保存」をクリック。(これが RefWorks に取り込むファイルとなる。) ファイルの保存先がどこになっているか、確認しておくこと。
- 
- ⑤ RefWorks 画面で、「レコード」⇒「インポート」を選択。
  - ⑥ 「テキストファイルから」⇒「インポートフィルター/データソース」で「NLM PubMed」を選択。  
(「データベース」は「PubMed」が自動選択される)。
  - ⑦ 「テキストファイルを選択」の参照をクリックし、取り込むファイルを指定。
  - ⑧ インポート先フォルダで既に作成したフォルダの中から任意のフォルダ名を指定して「インポート」をクリック。
  - ⑨ 「インポートが完了しました」のメッセージが表示される。

### 【PubMed 画面】



### ⑤ 【RefWorks 画面】



【補 足】 RefWorks 画面上部メニューバーの「検索」⇒「外部データベース」⇒「PubMed」で直接にインポートすることも可能。

## 【参考文献リストの作成】 -レコード一覧から作成する方法

- ① 画面右のフォルダー一覧⇒参考文献リストにしたい文献のフォルダを選択。または選択したいレコードにチェックをつける。
- ② メニューバー下の「参考文献の作成」ボタンをクリック。
- ③ 出力フォーマットは、投稿する雑誌で指定されている、文献リストの書式を選択。使う書式は「Manage Output Styles」で確認、通常使う「お気に入り」に追加できる。
- ④ 「エクスポートの対象」と「ファイルタイプ」(「HTML」など)を適宜選択。
- ⑤ 「参考文献の作成」をクリック。
- ⑥ 別画面が開き、指定した書式での文献リストが表示される。(コピーして原稿に貼り付けるなどして活用。)

リストが表示されない場合は、ポップアップブロックされていることが多い。ポップアップブロックを解除すること。

【補 足】  
出力フォーマットに対応していない書式の場合は、既存出力フォーマットを流用してカスタマイズすることも可能。  
その場合はメニューバー「参考文献」⇒「出力フォーマットの編集」をクリック。

③ 出力フォーマットを選択する Vancouver

④ エクスポートの対象 ファイルタイプ  
 選択したレコード (0)  ページ (11)  すべてのレコード (11) HTML

フォーマットの全ての一覧はここから

⑥ 完了  
参考文献が完了しました。ファイルのダウンロードが始まらない場合はここをクリックします。または、ファイルを自分にメールしてもらつ場合はここをクリックします。

⑤ 参考文庫の作成

別画面が開かない時は画面右下に出るメッセージをクリック⇒「このファイルを開くか保存しますか？」で開くをクリック

リストに必要な書式が無ければ、literacy@lib.u-tokyo.ac.jp まで投稿規程の URL をメールでお知らせください。

## 【参考文献リストの作成】 -原稿ファイルから作成する方法①

- ① 論文原稿を Word ファイルで用意する。
- ② 画面右のフォルダー一覧⇒参考文献リストにしたい文献のフォルダを選択。
- ③ 引用したいレコードの右側にある「引用する」アイコン {} をクリック。「引用ビューアー」画面が開く。
- ④ 引用ビューアーの「選択」ボタンをクリック。
- ⑤ 反転するので、コピーして Word ファイルに貼り付け、Word ファイルを保存する。⇒原稿ファイル
- ⑥ 引用ビューアーの「参考文献」ボタンをクリック。画面が遷移する。
- ⑦ 出力フォーマットは、投稿する雑誌で指定されている文献リストの書式を選択。
- ⑧ 「select a file」をクリックし、⑤で保存した原稿ファイルを指定。
- ⑨ 別の Word ファイルが開き、指定した書式での文献リスト付きで表示される。⇒完成ファイル  
(この完成ファイルは、原稿ファイルとは別に、「名前をつけて保存」で保存すること。)

※Wordのファイル名は半角英数で

② 001

③ {}

{ {2 MENARD, R. 1994} }

⑤

⑥ 参考文献

④ 選択

引用を選んでください。選択後、それをコピーして文書に貼り付けてください。

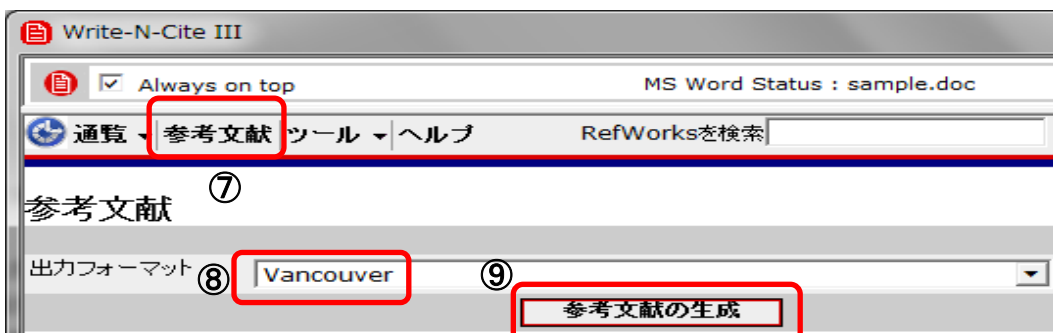
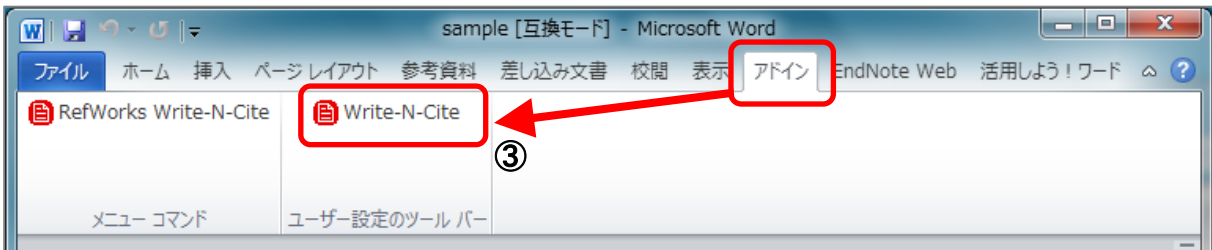
## 【参考文献リストの作成】—原稿ファイルから作成する方法② ～Write-N-Cite を利用した場合～

- ① RefWorks メニューバーの「ツール」から Write-N-Cite を選択し、適宜ダウンロードおよびインストールする。  
【OS および Word のバージョンに注意】 ※Word のファイル名は半角英数で
- ② 論文原稿を Word ファイルで用意する。  
(Word を起動すると、「アドイン」メニューまたはツールバーに Write-N-Cite のアイコンが表示される。)
- ③ Write-N-Cite のアイコンをクリックすると RefWorks と同様にログイン画面が表示されるので、ログイン名、パスワードを入力する。
- ④ Write-N-Cite のメニューバー「通覧」下の「フォルダ」または「すべてのレコード」から、引用したいレコードを選択。
- ⑤ Word 論文の必要な箇所にカーソルをあわせ、Write-N-Cite のレコードの左側にある「引用する」をクリックすると、引用する文献情報が表示される。
- ⑥ Word ファイルを上書き保存。⇒原稿ファイル
- ⑦ Write-N-Cite のメニューバーから「参考文献」をクリック。
- ⑧ 「出力フォーマット」で、投稿する雑誌で指定されている、文献リストの書式を選択。
- ⑨ 「参考文献の生成」をクリック。
- ⑩ 指定した書式の文献リスト付きで Word 文書が表示されるので、別名で保存する。⇒完成ファイル  
(この完成版 Word ファイルは、原稿ファイルとは別に、「名前をつけて保存」で保存すること。)



### ① 【RefWorks 画面】

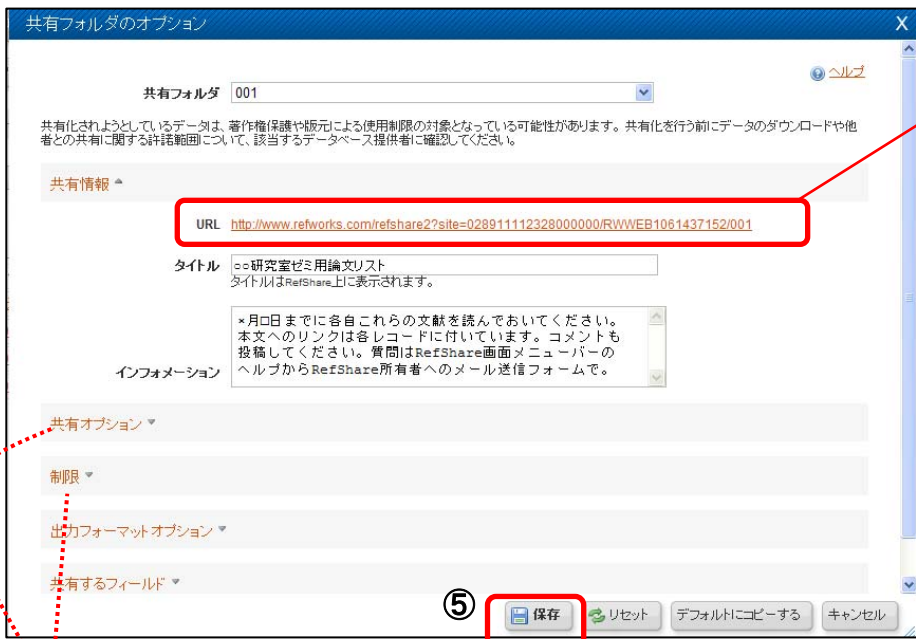
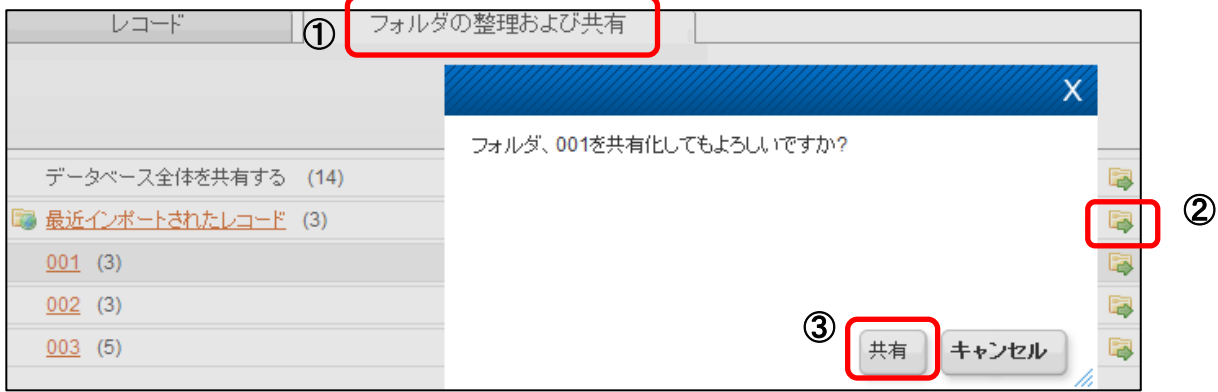


### ② 【Word 画面】

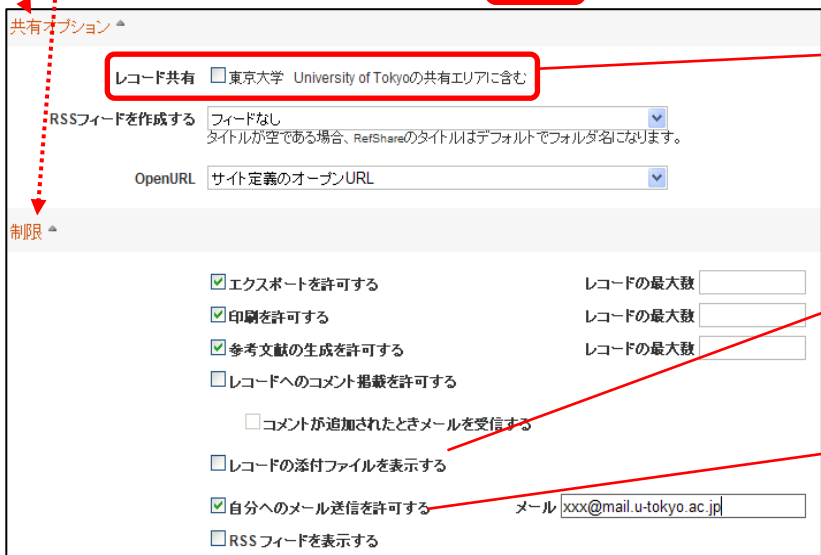


## 【文献リストの共有】 -RefShare について

- ① RefWorks 画面のタブを「フォルダの整理および共有」に切り替える。
- ② 共有化したいフォルダの右にある「共有化」アイコン  をクリック。
- ③ 共有化してもよろしいですか？ のメッセージが表示されるので「共有」をクリック。
- ④ 「共有フォルダのオプション」画面が開く。必要に応じて、共有相手に許可する事項など条件設定をする。
- ⑤ 「保存」ボタンをクリック。
- ⑥ 共有化を取り消したいときは①の「フォルダの整理および共有」タブから、共有済みフォルダ右にあるアイコン  をクリックして「非共有化」を選択。「非共有化してもよろしいですか？」で「非共有化」をクリック。



この URL を知らせることで共有・公開が可能。  
※ユーザ登録していない人や、契約機関に所属していない人でも見られる。



ここにチェックをつけると、東大の RefWorks ユーザ全員が、メニューバーの「参照」⇒「共有エリア」で見られる状態となるので注意。

※論本文の PDF 等を、添付ファイルにして共有・公開することは禁止です！  
著作権に注意！

「許可する」にすると、RefShare の画面内の「ヘルプ」から、メール送信フォームで、自分にメールが届く。